

10月例会「異業種交流」

京都伝統産業青年会との交流

～「伝統と先端」～について語る

10月28日 於 食事苑京阪

10月例会は、今までやってそうで意外とあまりやっていなかった異業種交流でした。特にまったく違う分野の業種の方との交流は初めてに近い試みでした。

会場は、四条西洞院にある京都市伝統産業新興館(四条京町屋)。ここは入った瞬間に「あつ、なつかしいな～」と思わせるようなきょうとの町屋を保存されているんですが、その中で「伝統と先端」という内容のディスカッションを交わしました。一見忘れられていきそうな伝統産業・・・しかし扱う商品の単価は下がらないその中で生き抜いてこられた何代も続いている方々とのコミュニケーションは非常におもしろく考えさせられました。

我々KISEIRENは自分たちで先端をいってる！と勝手に思っていました、皆さんと語り合ううちに我々の商品は、すでに売れたものを作る商売であって創造性だとか考えというのはそう簡単に組み込めるものではなく(組み込んじゃならん！！)したがって競争原理にしたがい競争し、価格破壊が起こっています。

一方伝統産業のほうはまず市場作りが最初でそれに合うものニーズに合うものを考えつくり、そして販売するその中にあふれる自信と強み、非常に感心いたしました。

今低迷し、中国シフトが進む中伝統国たる「日本」と「ベンチャー」たる中国。まさに伝統と先端そういう気がします。今我々のような企業体が生き残るためには、単に競争ではなく伝統産業の息吹を感じて、市場の動向を考え、そしてつくりあげるということを考えてゆかねばならないのではないのでしょうか？

